

重篤副作用疾患別対応マニュアル改定・新規作成の進捗について

1. 平成 29 年度のマニュアル作成・改定について

- 第 9 回検討会にて、学会アンケート回答を踏まえたマニュアル改定の優先順位を「A」（平成 29 年度着手）としたマニュアルについて、各学会において、以下のとおりマニュアル作成・改定検討を実施した。

作成学会	資料番号	マニュアル名	区分
日本皮膚科学会	2-1	多形紅斑	新規作成
日本腎臓学会	2-2	急性腎障害（急性尿細管壊死）	改定
	2-3	間質性腎炎（尿細管間質性腎炎）	改定
	2-4	ネフローゼ症候群	改定
	2-5	血管炎による腎障害（ANCA 関連含む）	改定
	2-6	腎性尿崩症	改定
	2-7	腫瘍崩壊症候群	改定
	2-8	低カリウム血症	新規作成*
日本糖尿病学会	2-9	高血糖	改定
	2-10	低血糖	改定
日本口腔外科学会	2-11	骨吸収抑制薬に関連する顎骨壊死・顎骨骨髓炎	改定
日本整形外科学会	2-12	骨粗鬆症	改定

*資料番号 2-8 「低カリウム血症」については、第 9 回検討会時の優先順位リストには含まれていなかったものの、平成 29 年度に腎臓領域全体のマニュアルの見直しをする中で新たに作成された。

→ [資料 2-1](#)～[資料 2-12](#) 参照（議題（2）において議論）

- 平成 29 年度に、着手をしたが検討継続中のマニュアルは以下のとおりである。

作成学会	マニュアル名	区分
日本小児科学会	新生児薬物離脱症候群	改定
日本癌治療学会 日本皮膚科学会 日本臨床腫瘍学会	手足症候群	改定
日本血液学会	免疫チェックポイント阻害薬による重篤副作用（総論）	新規
日本腎臓学会	腎臓領域における総論	総論
日本神経学会	神経・筋骨格系領域における総論	総論

2. マニュアル作成・改定の全体の状況について

- ① 改定スケジュール「A」のうち、着手したが検討継続中のマニュアルについては、引き続き改定検討を実施する予定である。
- ② 改定状況は下記の表のとおり。今年度は改定スケジュール「B」について着手し、可能な範囲で改定スケジュール「D」についても着手予定。

(参考：区分ごとのマニュアル数)

改定スケジュール	区分	総数	作成終了	着手	未着手
平成 28 年度着手	改定	2	2	0	0
A：平成 29 年度着手予定	改定	12	10	2	0
	新規	2	1	1	0
B：平成 30 年度以降着手予定 (優先度高)	改定	22	0	0	22
	新規	6	0	0	6
C：平成 30 年度以降着手予定 (優先度中)	改定	15	0	0	15
D：時点修正	改定	23	0	0	23

→ マニュアル毎の状況は資料 1-2 参照

3. 総論について

- 各分野の総論については、平成 29 年度は、腎臓領域、神経領域及び免疫チェックポイント阻害剤について作成に着手したところ。これらについては次回検討予定。